

アマチュア無線局業務日誌(Log Book)を Excelで管理・処理できるようコード化したものです… Excel2010 以降で動作します。DE JR6OEI

【確認】 使用に当たって生じた如何なる事態にも、当方は一切責任を負うことはありません。承諾同意される方だけご使用ください。

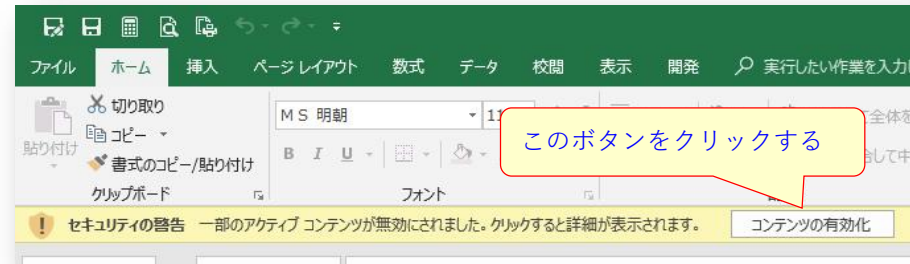
→ Excelの「開く」メニューから本ファイルを読み込みます。
マクロを有効にしないと使用できません。下図の表示が出た場合は[コンテンツの有効化]ボタンを押してください。
詳しくは、右の「Excelのマクロを有効にする方法」をクリックすると MicrosoftのHPで確認できます。

Excelのマクロを有効にする方法

※マクロ安全に使用するための方法について、「はじめにお読みください」のテキストファイルもご覧ください。

● 「Excel De HAM_Log」 でできること

- ① 交信の記録(データベース化)
- ② 交信履歴(過去の交信の履歴を抽出)
- ③ 検索・抽出(条件に合ったアマチュア無線局を抽出)
- ④ QSLカードの印刷(画像挿入可、縦置き印刷と横置き印刷)
- ⑤ 抽出したデータの印刷(最大500件)
- ⑥ JCCコードによる検索 など



使用法

入力は、「抽出シート」の検索条件入力欄に必要な箇所に入力して「交信を記録」または「F12」を押して「データ」シートに保存します…

- ・入力は、《A》交信しながら入力する。《B》交信の後や他の記録から入力する。2つの方法があります。詳しくは後述。
- ・Remarks以外は全て半角(QRA漢字入力可)。JCCコード入力で市郡区欄は入力不要。小文字で入力可。保存時に大文字に変換されます。
- ・コールサイン入力時の日付と時刻は変更できますが、日付は「23/7/20」の形で、また時刻は「0825」のように24時表示で4桁数値で入力し、UTCはその後に付加します。
- ・JCC/JCGコードを入力すると、右上の JCC/JCGの欄に該当する市区郡町村が表示されます

フォルダにある「Excel De Ham_Log_SAMPLE.xlms」で動作の概要をご確認下さい。

この「Excel De HamLog」では、「切り取り」の操作はできません。また印刷はシート上の「印刷」ボタンから実行します。

「抽出」シート

(1)記録の入力 (2)交信履歴 (3)検索抽出 を実行するシートです。セル移動はマウスや方向キーtabキーを使用します。

→この説明の画像と実際のエクセルの「抽出シート」でボタンの配置が一部違っていますが、機能は同じです。

- | | |
|---|--|
| <p>① CALL 半角英数字でコールサインを入力
ENTERキーで小文字は大文字に変換され③④を表示(②がONの時)</p> <p>② No. 入力不可(番号検索するときのみ可)。Excelが割り振っていきます。</p> <p>③ Date ①を入力しENTERキーを押すと日付が入力される(②がONの時)</p> <p>④ JST/UTC ①を入力しENTERキーを押すと時刻が入力される(②がONの時)</p> <p>⑤ / 半角英数字で入力</p> <p>⑥ JCC/JCG コードを入力すると②に該当の市区郡を表示し
保存時データシートの⑧の位置欄に⑥を記録する。</p> <p>⑦ 呼応他 該当欄に直接入力または②を押して入力</p> <p>⑧ QRA OPのnameやhandleを入力。漢字可。保存時Handleは一文字目を大文字に変換</p> <p>⑨ 市郊区 ⑥を入力すれば入力不要</p> <p>⑩ QSL他 QSLカードの送受や印刷等を指定
入力値 QSL 1 印刷 2 保留 3 発送不要 等
印刷 印刷すると済みを示す数字1が「データ」シート入る
※この欄は、印刷済みの確認等に使用する
受取 QSLカードを受け取ったら数字1を入力する</p> <p>⑪ Remarks Remarks①はQSLカードに印刷される Remarks②は備忘録として使用</p> <p>⑫ 交信の履歴 ①CALLに入力後このボタンまたはENTERキーで当該局があれば抽出エリアに表示</p> <p>⑬ 交信を記録 このボタンまたはF12キーを押すと、検索条件入力欄の内容をデータシート記録する</p> | <p>⑭ 抽出条件の消去 検索条件入力欄に入力された内容を消去</p> <p>⑮ データの抽出 検索条件欄の条件に合致した無線局を抽出エリアに表示
※検索は全て「and条件」で実行 必要な条件のみ入力する</p> <p>⑯ 交信記録を更新 抽出された無線局の記録を訂正したり追記した時は、このボタンまたはF9キー押すと、「データ」シートが書き換えられる</p> <p>⑰ 抽出データの消去 抽出データを消去。続けて検索するときはこの操作は不要⑱</p> <p>QSLカードの印刷 「QSL」シートへ移動 シート下のタグでも可</p> <p>⑲ カード表示 抽出データをカード型で表示する</p> <p>⑳ 作業を選ぶ 抽出データの並び替えや印刷等ができる。
※Excelの印刷は使用不可。シート上の印刷ボタンを使用。</p> <p>㉑ 期間を指定して抽出 検索して抽出するとき期間を指定するとき
※ 2022年10月1日～2023年6月31日など</p> <p>㉒ Enter・F復旧 ENTERキーやFキーが使えなくなった時このボタンを押す</p> <p>㉓ JCC/JCG コードの該当する市区町村郡をここに表示</p> <p>㉔ 交信しながら入力する 交信しながら記録するときにはチェックを入れる</p> <p>㉕ F1 - F7 ファンクションキーでカーソル移動</p> <p>㉖ 局数・件数 抽出データにおける交信した局の数と交信した数を表示</p> |
|---|--|

「抽出」シート

(1)記録の入力 (2)交信しながら入力 (3)記録の更新 (4)条件に合ったデータの抽出 などができます。

→この説明の画像と実際のエクセルの「抽出シート」でボタンの配置が一部違っていましたが、機能は同じです。

新規入力、(1)抽出シートの検索条件入力欄から入力し、(2) F12キーを押す と「データ」シートに保存される

【方 法】 《A》交信しながら入力する 《B》交信の後や他の記録から入力する

《A》交信しながら入力する ※ ⑳「交信しながら入力する」にチェックを入れる。事前準備として呼応や周波数、モード、やRemarksなどを入力しておく。

1 ①CALL 半角英数字でコールサインを入力。入力後ENTERキーを押すと小文字は大文字に変換され同時に③④にも日付と時刻が表示される。

この時、入力中の局と交信履歴があれば抽出エリアに表示する。

コールサイン以外の通信で得た情報を必要に応じ入力 ⑥JCC/JCG はコードを入力すれば㉗に該当市区町村を表示し保存時に「データ」シートへ記録。

2 交信がすんだら「交信を記録」ボタンまたは、F12キーを押すとデータシートに保存記録される。

3 入力は1 2を繰り返す。抽出シートに表示のデータは消す必要はありません。次のデータで置き換えられます。

《B》交信の後や他の記録から入力する ※㉘「交信しながら入力する」のチェックを外す。呼応や周波数、モードなど局に共通する事項を事前入力。

1 ②入力できません(自動割振り) ③日付を入力(例 23/6/31) ④交信時刻は半角数字 4 桁(例 午前8時12分は0812 午後1時5分は1305) ①半角英数字で入力

①を入力すると、交信履歴があれば抽出エリアに表示。(Enterキーで履歴を表示することがあります)

その他必要に応じ情報を入力 ⑨市郊区は⑥JCC/JCGコードを入力すれば、保存時に「データ」シートの市郊区欄に記録。

2 入力がすんだら「交信を記録」ボタンまたは、F12キーを押す。「データシート」に保存されます。

3 入力は1 2を繰り返します。※入力は日付順の必要はありません。「データ」シートで日付順に並べ替えができます。

抽出の方法

検索条件入力欄に条件を入力し、条件に合致したデータを抽出エリアに抽出します。抽出データの訂正や追記をします。

The screenshot shows the 'Excel De Ham Log' software interface. At the top, there's a header with the title 'Excel De Ham Log Ver.22-04A'. Below it, there's a search filter section with various input fields: '呼応' (2), 'MHz' (14), '2Way' (CW), 'URST' (599), 'MRST' (599), '事前入力[既定値]', 'JCC/JCG', and a checkbox for '通信しながら入力する' (checked). There are also buttons for '期間を以て抽出' (10), 'JST/UTC切替', and '履歴抽出時入力値を消去する'. Below the search filter, there's a table with columns: No., Date, JST/UTC, CALL, JCC/JCG, 呼応, MHz, 2Way, URST, MRST, QRA, 市郊区, QSL, 印刷, 受取, Remarks 1, Remarks 2. A red box highlights the search filter section, and a yellow box highlights the main table. A red circle with the number 11 is placed near the '通信しながら入力する' checkbox. Below the table, there's a section for '局数' and '件数' with buttons for 'データの抽出' (13), '通信記録を更新' (F9), '通信を記録' (F12), 'QSLカード印刷', 'カード表示', and '作業を選ぶ'.

⑪「通信しながら入力する」のチェックを外す 条件の入力がすんだら「データの抽出」または「F8」キーを押す

→ の中に、条件を入力します。条件は何個でも構いません。 に入力した条件を全てを満たすデータを抽出します。
 検索抽出の条件として使用できる記号例 …… 《 * 任意の文字 ? 任意の1文字 > より後 < より前 >= 以後 <= 以前 》

【入力例】 カッコ「」は入力しません 入力した条件に合致する局がないときは抽出エリアは空欄です

①に「7/21」または「23/7/21」:23年7月21日に通信した局を抽出 ①に「22/10/5」(当該年以外は省略できません):2022年10月5日に通信した局を抽出

③に「ja6qrz」小文字可:JA6QRZ局を抽出 ③に「J*」:頭に「J」のつく局を抽出 ③に「J?7」:「JO7〇〇〇」局を抽出

③に「ja6qrm」⑤に「7」:JA6QRM局と7MHzで通信した履歴を抽出

①Dateに「>=5/1」⑤に「21」を入力 -----2023年5月1日以降に21MHzで通信した局を抽出

⑩にチェックを入れ①Dateに「>=2/1」②に「<=7/30」-----2023年2月1日～2023年7月30日の間の通信局を抽出

に何も入力せずに「データの抽出」を押すと、全データを抽出します。

データに訂正や追記をした時は必ず
F9キーを押して更新してください。

※ ③に入力後「ENTER」または「通信の履歴」を押した場合は「通信しながら入力する」に関係なく、当該局との通信履歴を表示します。

「データ」シート

交信データを記録するシート(データベース)です。行はデータを記録するたびに拡大していきます。

→ 入力はすべて「抽出」シートの検索条件入力欄から行います。「データ」シートでは入力できません。

※ Excel De HamLogどうしてデータの移動や追加ができるようになりました...

- ① 抽出シートに移動する
- ② データシートのデータを日付の若い順に並び替える 同一日ではUTC(表示あり)はJST(表示なし)時刻の後に表示。
- ③ 不要な記録を削除します。削除後は、もとに戻すことはできません。
- ④ データシートに保存された異なる交信局の数と、交信した総件数を表示します。
- ⑤ 他のExcel De HamLogで記録したデータをこのExcel De HamLogに追加する作業を行うとき、その交信局数(=追加する行数)を入力します。
- ⑥ ボタンを押すと、データシートにその行が追加されます。100局を超えるときは、数回に分けて実行してください。(例 152局 = 100局 + 52局)

【追加の方法】

- ① コピー元とコピー先、2つのExcel De HamLog(ファイル名が違うこと)を立ち上げておきます。二つのファイルは、「Ctrl + Tab」で切り換えができます。
- ② はじめにコピー先の「データ」シートで、追加する局数の行の追加をします。必ず、追加する局数と行数を同じにすること。
※ 行の追加をするには「データ」シートに1件以上データがある必要があります。ない場合は、「抽出」シートの「検索条件入力欄」からデータを1件保存、後行ってください。
- ③ コピー元では、No.を除いてデータ(交信記録)を範囲指定してコピー。(抽出したデータでも「データ」シートのデータどちらでも可、局数を間違わないように)
- ④ コピー先は、②で準備したExcel De HamLogの「データ」シートです。最終交信記録のある下の日付の位置にカーソルを置き、「値」のみの貼り付けを実行。

※ コピーの実行(貼り付けのオプション)は、必ず「値」のみで行ってください。書式が壊れないようにするためです。

「QSL」シート

QSLカードの印刷を行うシートです。印刷する前に、抽出シートで検索抽出をしてください。

NO. _____ TO RADIO

Confirming Our QSO. ①

DATE			TIME	RST	BAND	MODE
Day	Month	Year			MHz	2WAY
RIG			OUTPUT		W	
ANT					mH	
RMKS						
QTH			TNK QSL			
OP.						

②

③ 画像取込範囲
この枠内に貼付します

QSLカード印刷

To Radio Confirming Our QSO. ① No.

DATE	TIME	RST	BAND	MODE	RIG	OUTPUT	W
Day	Month	Year			MHz	2WAY	
RMKS					ANT		
					QTH		
					OP.		
					PSE QSL		

③ 画像取込範囲
この枠内に貼付します

④

取り込んだ画像を削除するには

1 削除する画像上でマウスを左クリック

2 「Delete」キーを押す

このメッセージは画像です。削除できます。

⑤

0 件の抽出データから印刷を指定します・・・

印刷した局には、データベースの印刷欄に「1」が入力されます

QSL欄「1」のカード印刷

QSL 番号 1

⑦ 戻る

⑧ 次へ

⑨ まえへ

抽出シートへ

データベースへ

⑩ 画像取り込み

⑪ コールサイン枠表示にする

⑫ 枠内のサインを非表示にする

枠調整 上端から11mm

⑬ 上/右へ リセット 既定位置

下/左へ

約0.7mm/Click

⑭ 縦置き印刷 ⑭ 横置き印刷

Rig	OutPut (W)	List
Ant	mH	
RMKS		
QTH		
OP		

- ① Remarks1を表示 ②個別の追記ができます ③画像はこの枠内に収めます。 ④縦置き印刷表示 ⑤横置き印刷表示 ⑥コールサイン枠⑬で位置決め
- ⑦表示する局を選びます。 ⑧印刷指示番号に拘わらず表示の局を印刷します。 ⑨抽出された局で「印刷」欄に「1」が入力されている局をまとめて印刷します。
- ⑩画像を取り込み③の枠内に収まるよう大きさを調整する。取込む画像サイズは適度な大きさに変換されます。⑪枠を8桁にします。 ⑫枠内を非表示にします。
- ⑬プリンタに合わせ枠の位置調整を行います。プリンタによっては印刷できません。 ⑭印刷の向きを選びます。 ⑮入力リストを作成できます。

→ 通常の印刷はできません

※QSLシート上のボタンと作業をえらぶのダイアログ(抽出データの印刷)から印刷できます

印刷できるのは、①抽出条件によって抽出されたデータ ②QSLカード の2種類です…「印刷範囲」等の設定はしないでください

- ① 抽出したデータは印刷できますが、抽出数が500件を超えた分は印刷はできません。最大 (A4) 10枚まで (50件/枚) です
- ② QSLカードの印刷は、使用するプリンタによってうまく印刷できないことがあります...

→ その他

- ・ **ファイル名は自由に変更できます。**ファイルの拡張子(xlsm)は変更してはいけません。
- ・ コード化後、Office365 で動作確認しています。コード化には十分注意していますが、誤動作やバグがあるかもしれません。
バグを知らせるダイアログを閉じて、保存すればこれまでのデータは保持されます。
- ・ コード化の改善やバグ等の修正には努めますが、その義務を負うことはありません。

de JR6OEI jr6oei@jarl.com